

# 活動指導案

実践団体名 高塚台2丁目自治会

## ■基礎データ

2009-22

① タイトル

子どもの登下校時の見守り

② 活動の概要

「挨拶声かけ運動」を日常の子どもの登下校時の見守り時に実施する

③ 目標・ねらい

大きな声で相手の目を見ての挨拶の励行習慣をつける

④ 活動で上げることが  
できる力・能力

①人と対面し、はっきりとした「おはよう」という言葉の発生、②積極的な行動習慣

⑤ 対象者（受ける側）

小学生（1年～6年）

⑥ 活動・作業形態

グループ（列の前後左右を注意しながら安全に登校・下校を管理する）

⑦ 準備するもの  
（道具、材料等）

誘導旗、グリーン帽、ジャンパー、防犯チョッキを着用の上、活動する

⑧ 所要時間

朝7:20～8:10（50分前後）、および下校時（下校時は学年により時差がある）

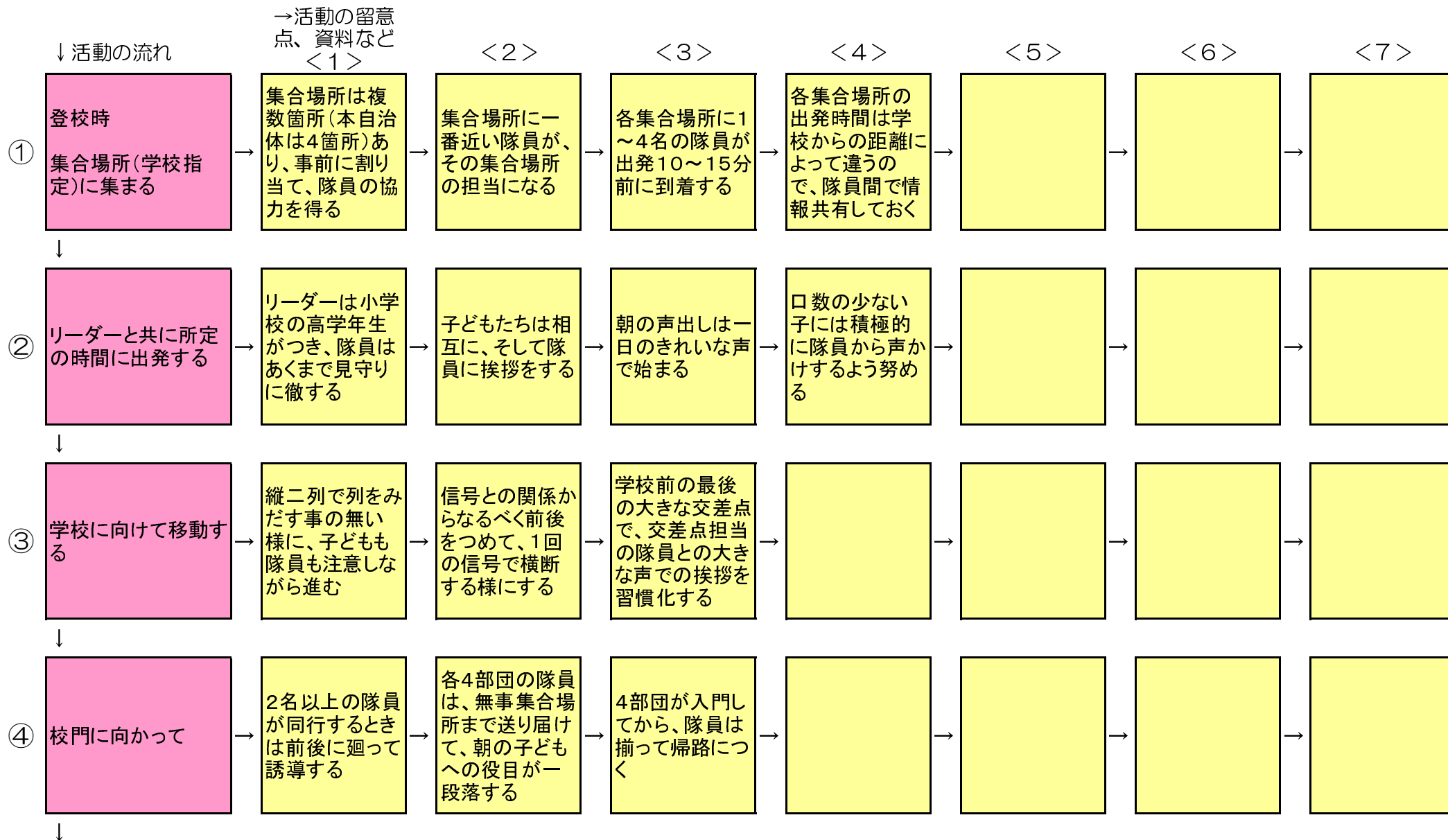
⑨ 必要なマンパワー  
（実施者、役割、人数）

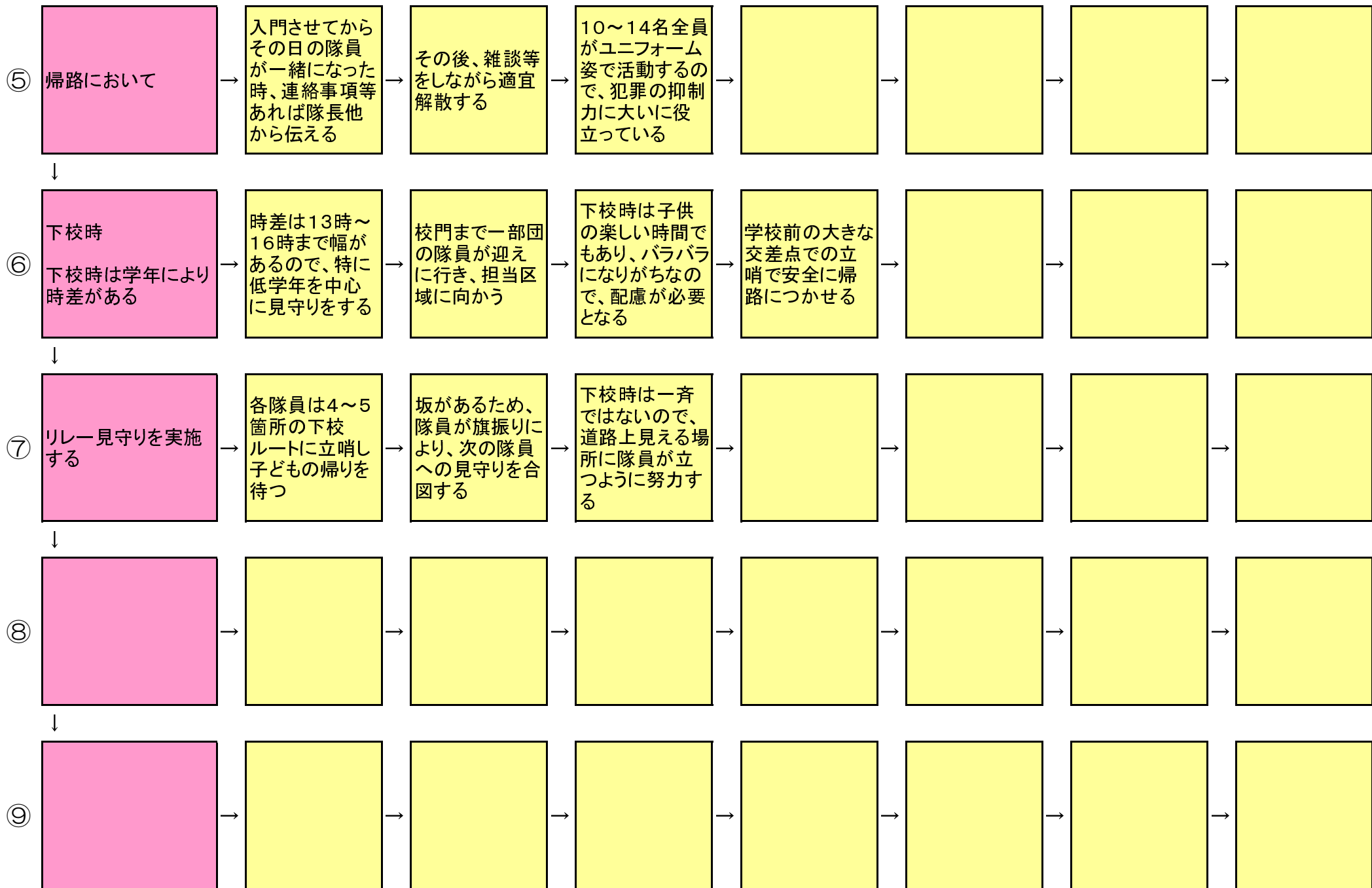
14名（男女を問わず子ども好きな大人、安全・安心確認に注意しながら誘導できる大人）

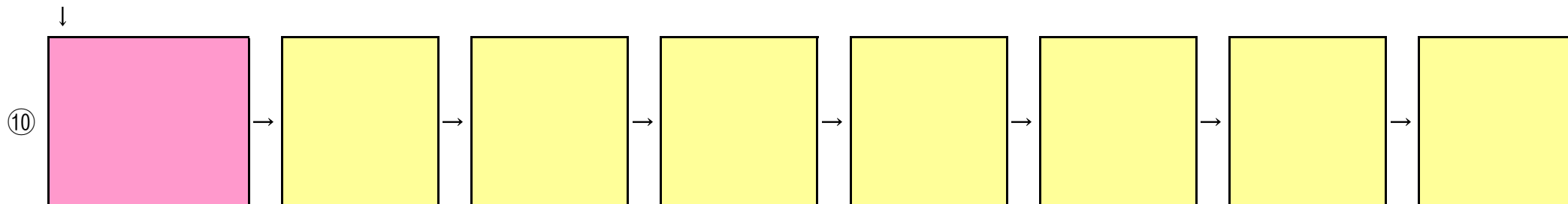
⑩ 必要経費  
（所要額、財源）

ジャンパー他のユニフォーム代として1人5000円、日頃の活動における必要経費はゼロ

## ■活動の流れ







## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

子どもたちの参加率(登下校の見守りを始めて7年経過し子どもたち全員100%参加で今に至る)

### ②その他の評価

地域防犯活動の継続(現在は自主防犯パトロール隊15名が現在活動(総隊員37名))

## ■備考・その他(活動のコツなど)

### ①活動のコツなど

見守りパトロール隊の組織づくりによる隊員定着が大前提(結成以来7年経過)

### ②参考資料等

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

登下校の途中で防災訓練も。



いつものおじさんお婆さんの顔に安心。



交差点では誘導もしてくれます。



# 活動指導案

## ■基礎データ

① タイトル

地域の小学校と連携する

② 活動の概要

「校区内の小学校児童の見守り活動」を通して学校と地域との連携を実現させる

③ 目標・ねらい

痴漢・わいせつ・その他児童犯罪へのゼロチャレンジ

④ 活動で上げることが  
できる力・能力

大人に対する人物の見方を養う・子どもとの対話能力を養う

⑤ 対象者（受ける側）

地域住民と児童

⑥ 活動・作業形態

学校活動における地域の関与（学校との信頼関係づくり～登下校時の見守り活動や学校行事への参加を通して～）

⑦ 準備するもの  
（道具、材料等）

防犯ユニフォーム

⑧ 所要時間

見守り（登校時50分前後）、その他学校行事への参加（2～3時間）

⑨ 必要なマンパワー  
（実施者、役割、人数）

地域からの参加者は10名程度（特に民生・児童委員は参加） 教員・学校側の指導方針、子どもたちの態度も重要

⑩ 必要経費  
（所要額、財源）

ユニフォーム一式5000円以外、特になし

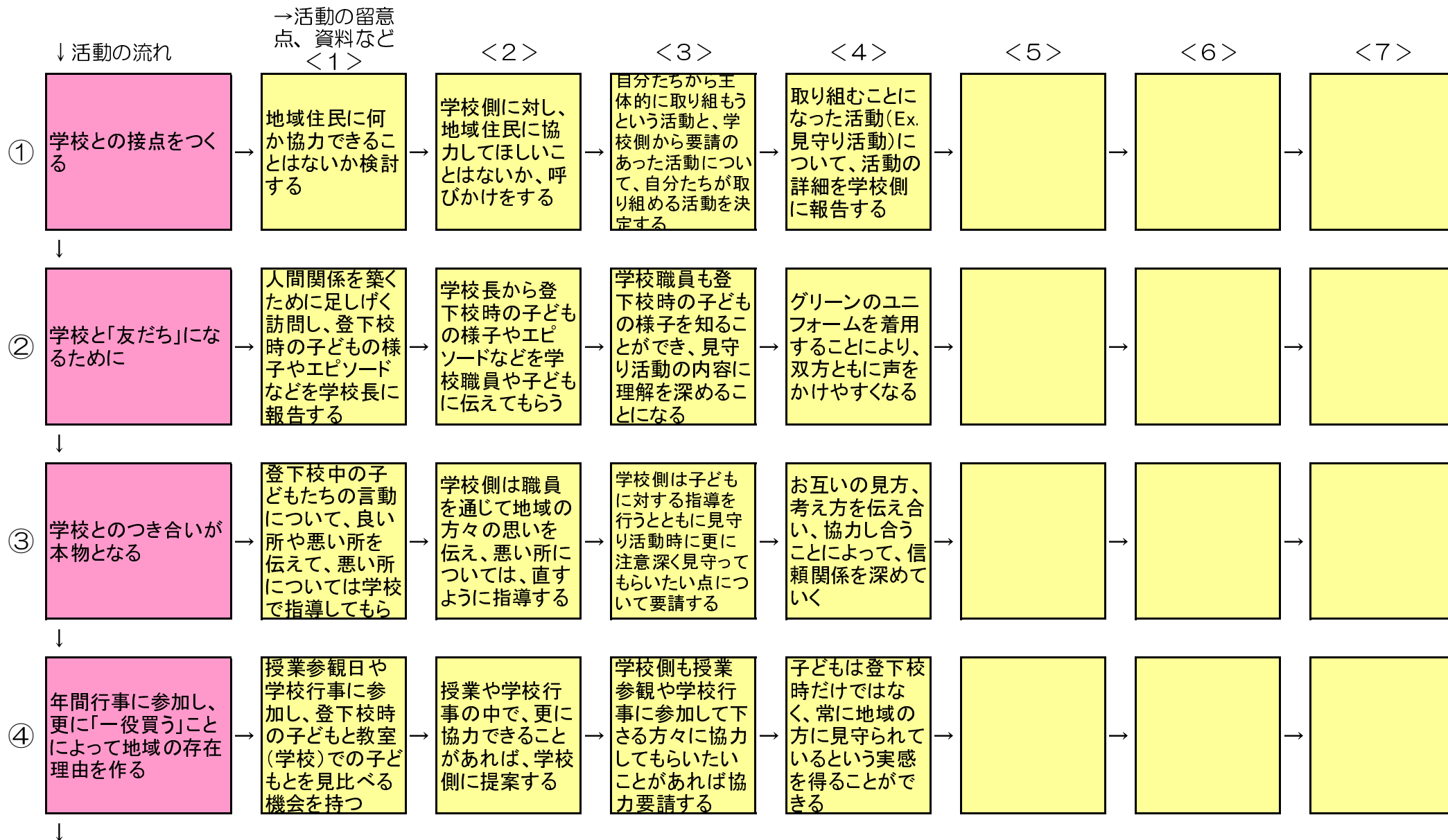
実践団体名 高塚台2丁目自治会

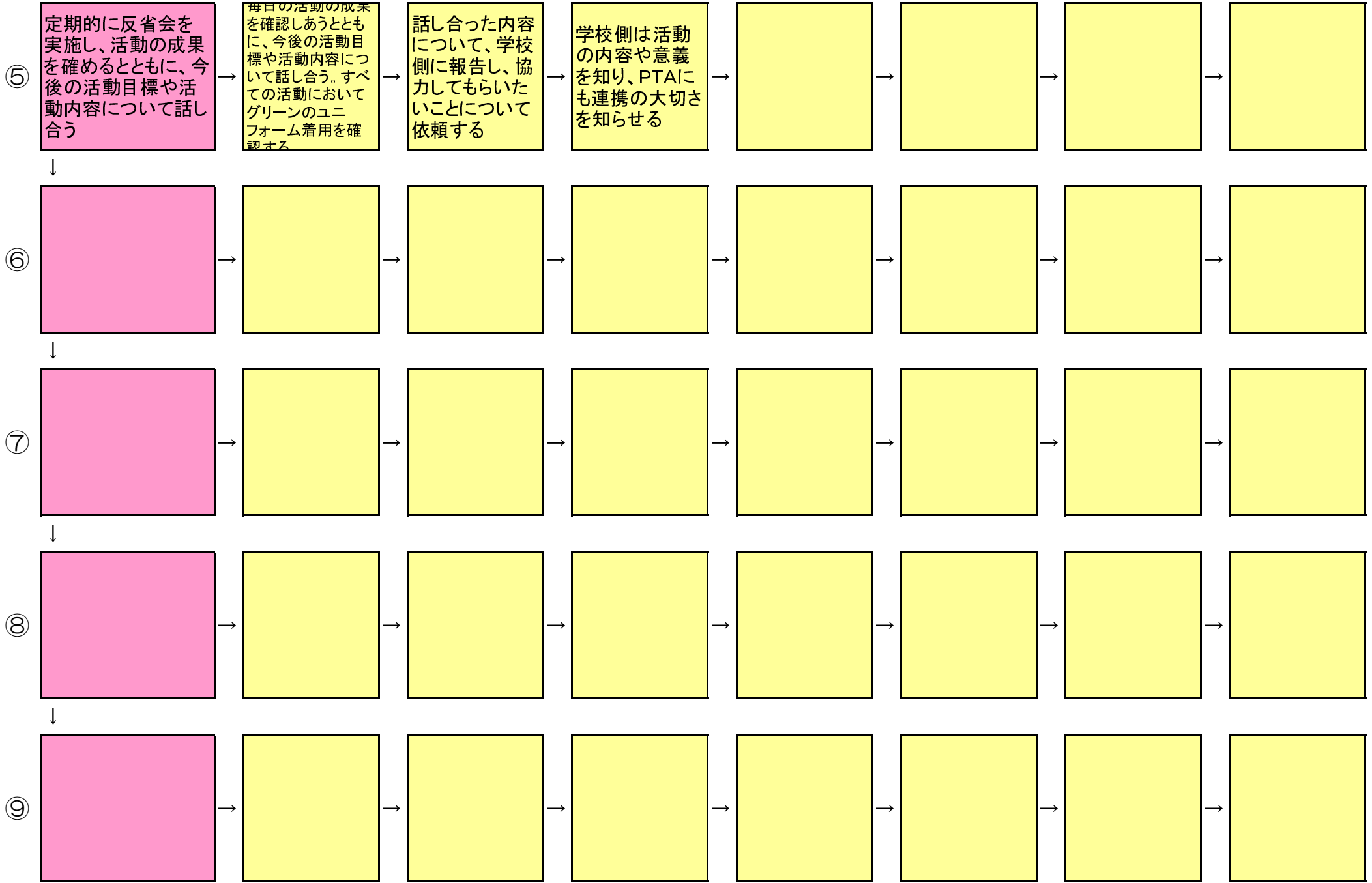
2009-23

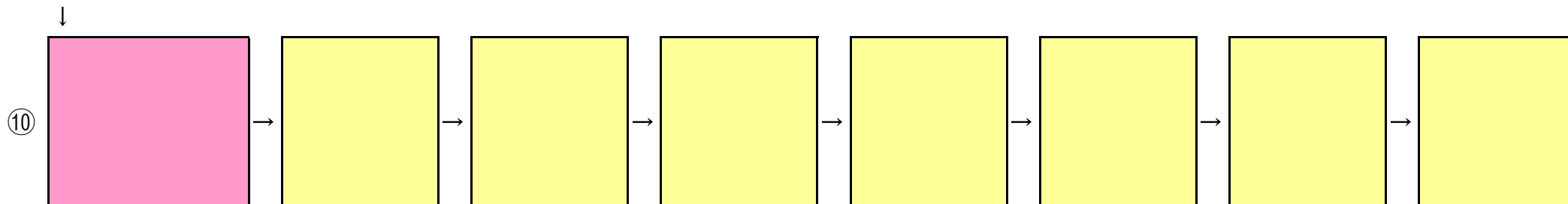


登下校時の避難訓練は学校と連携して行うことも。

## ■活動の流れ







## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

情報交換量や共通のめあてが増えているか

### ②その他の評価

学校の年間行事における地域の参加度、地域と学校との信頼関係

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

学校との顔合わせを数多く積むことが必要である。  
学校側の先生方の人柄を知ることが大切。話すきっかけ、話題づくりにもつながる。

### ②参考資料等

※ 活動指導案作成のための準備物：①写真（活動の代表的な写真、流れがわかる写真等）、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

# 活動指導案

## ■基礎データ

実践団体名 高塚台2丁目自治会

2009-24



① タイトル

徘徊している認知症の方を保護するサポーター(オレンジリングの携帯者)

② 活動の概要

地域内の徘徊者の発見・保護

③ 目標・ねらい

徘徊者を無事に自宅に送り届ける。尚、民生児童委員と独居老人等の情報を共有する。

④ 活動で上げることが  
できる力・能力

オレンジリングを着用することで認知症サポーターであることが一目でわかり、周りに共通認識及び安心感を与えることができる。また、サポーターとなるためには社会福祉協議会の地域包括支援センターの研修を受講しなければならないが、それによってサポーターとしての知識やノウハウを取得できる。

⑤ 対象者(受ける側)

高齢者並びに道に迷うなど、徘徊しておられる認知症の方。

⑥ 活動・作業形態

対象者を発見した時、最寄の協力者の家に協力を求め、警察へ保護の要請をする。協力者に関しては、「子ども110番の家」にあるような対象者を拡大した「地域110番の家」を提案中。

⑦ 準備するもの  
(道具、材料等)

通常のパトロール時のグリーン帽・ジャンパー(ベスト)・チョッキ・腕章・オレンジリングを着用する。(普段活動している服装が相手や協力者が安心することができる)

⑧ 所要時間

個人が地域内の各々の活動中にフォローするので定めていない(自由)。

⑨ 必要なマンパワー  
(実施者、役割、人数)

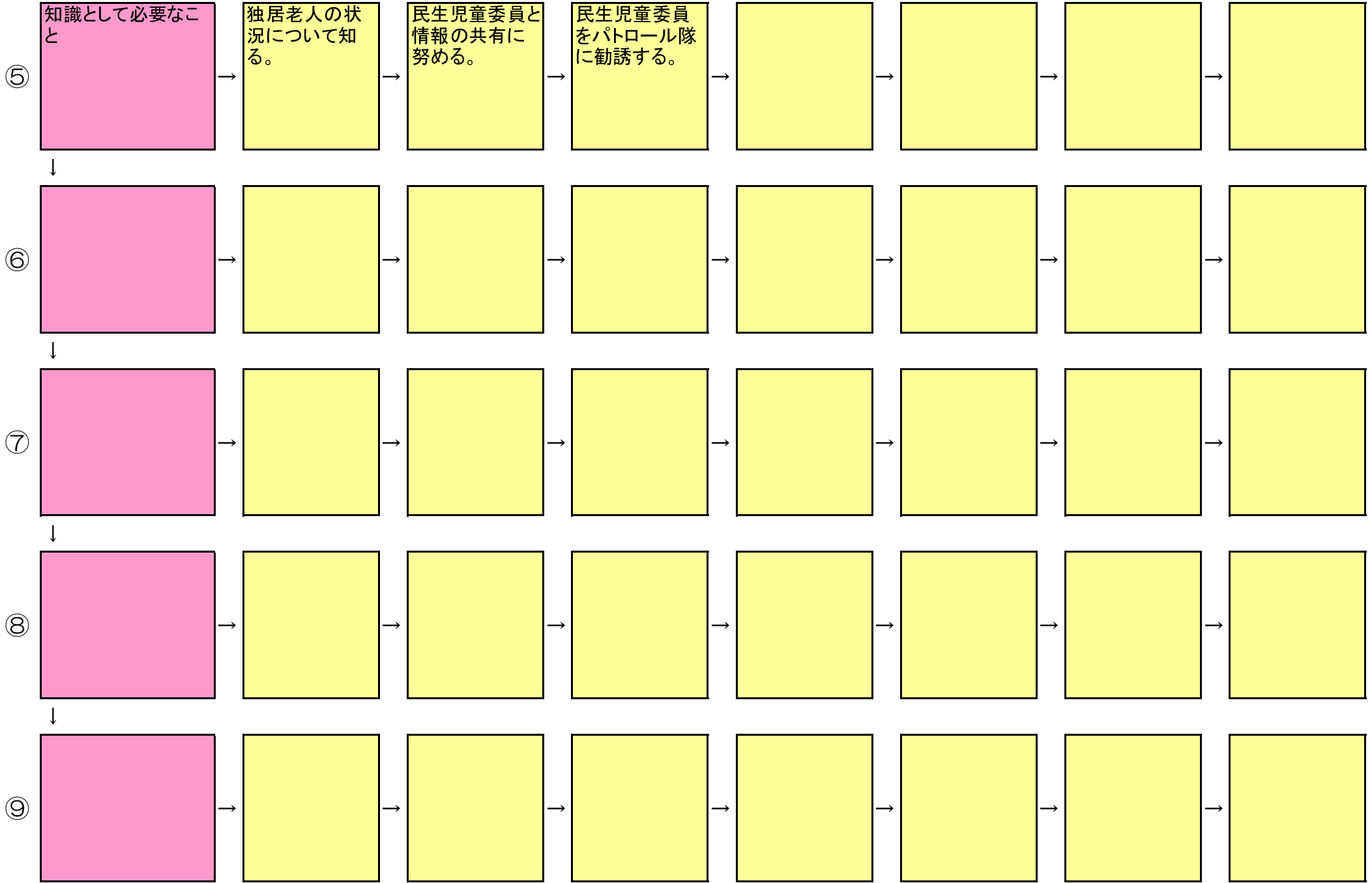
隊員中現在15名が献身的に活動しているが、最低・最高の人数や役割は特に定めていない。

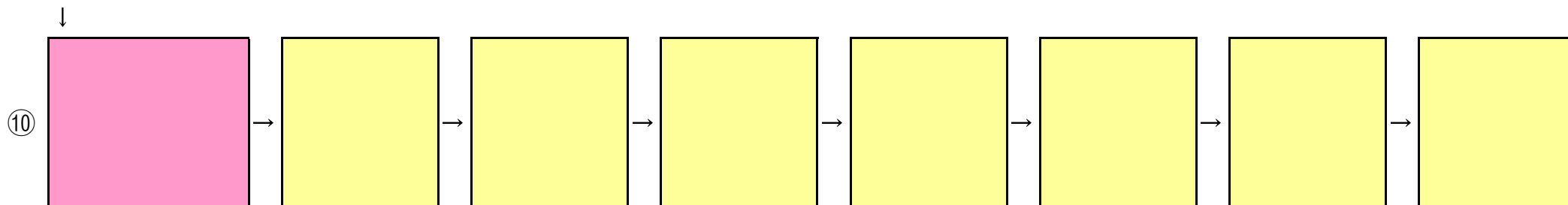
⑩ 必要経費  
(所要額、財源)

特に必要なし。

## ■活動の流れ







## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

パトロール隊員の増員や隊員中のオレンジリング所持者の増加は地域にとって心強いものとなる。人数は多ければ多いほど活動する側も地域も安心できるだろうし、サポーター隊員個人に対する負担は減ることになる。地域ぐるみで活動できることが何よりの評価。

### ②その他の評価

各パトロールと平行して行うので、評価は難しい。現在まで活動してきて、「地域110番の家」のような協力者が必要であることが浮き彫りになってきているので、サポーター以外にもそういった活動や体制を広く知ってもらう必要がある。そのようなことに気づき、実践していくことは評価に値すると思われる。

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

オレンジリング所持者としての自覚を持って、高齢者及び認知症などの徘徊者に気をつけておく。発見・保護はいつ遭遇するかわらないので、常に周囲に目を向けることが必要。

各種・各自のパトロールに組み込んでの活動として習慣化することもコツ。  
この活動は意識の問題です。

### ②参考資料等

話題の探し方として。「木戸たててかけせし衣食住」

き:気候 ど:道楽 に:ニュース た:旅 て:天気 か:家庭 け:健康 せ:姓(性) し:趣味 衣:衣料 食:食物 住:住宅

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

# 活動指導案

実践団体名 高塚台2丁目自治会

## ■基礎データ

2009-25

① タイトル

消火栓探し 親子スタンプラリー

② 活動の概要

地域に配備してある消火栓の位置を、親子で協力しゲーム感覚で探し出す

③ 目標・ねらい

①消火栓の位置を知る、②消火器の取り扱い方を知る、③家庭での防災に関する話題づくりを行う

④ 活動で上げることが  
できる力・能力

①初期消火の知識、②防災意識の高揚

⑤ 対象者（受ける側）

地域住民(親子)(子どもは小学生(低学年～高学年)を対象)

⑥ 活動・作業形態

グループ(親子)、個人での参加も可能

⑦ 準備するもの  
(道具、材料等)

参加案内文書、実施要領書作成、地図2枚(消火栓場所あり・なし)、スタンプ、スタンプ用紙、景品

⑧ 所要時間

①事前準備(文書・地図作成等:1日～2日、備品・景品準備:半日)、②本番:半日、③事後処理:2時間

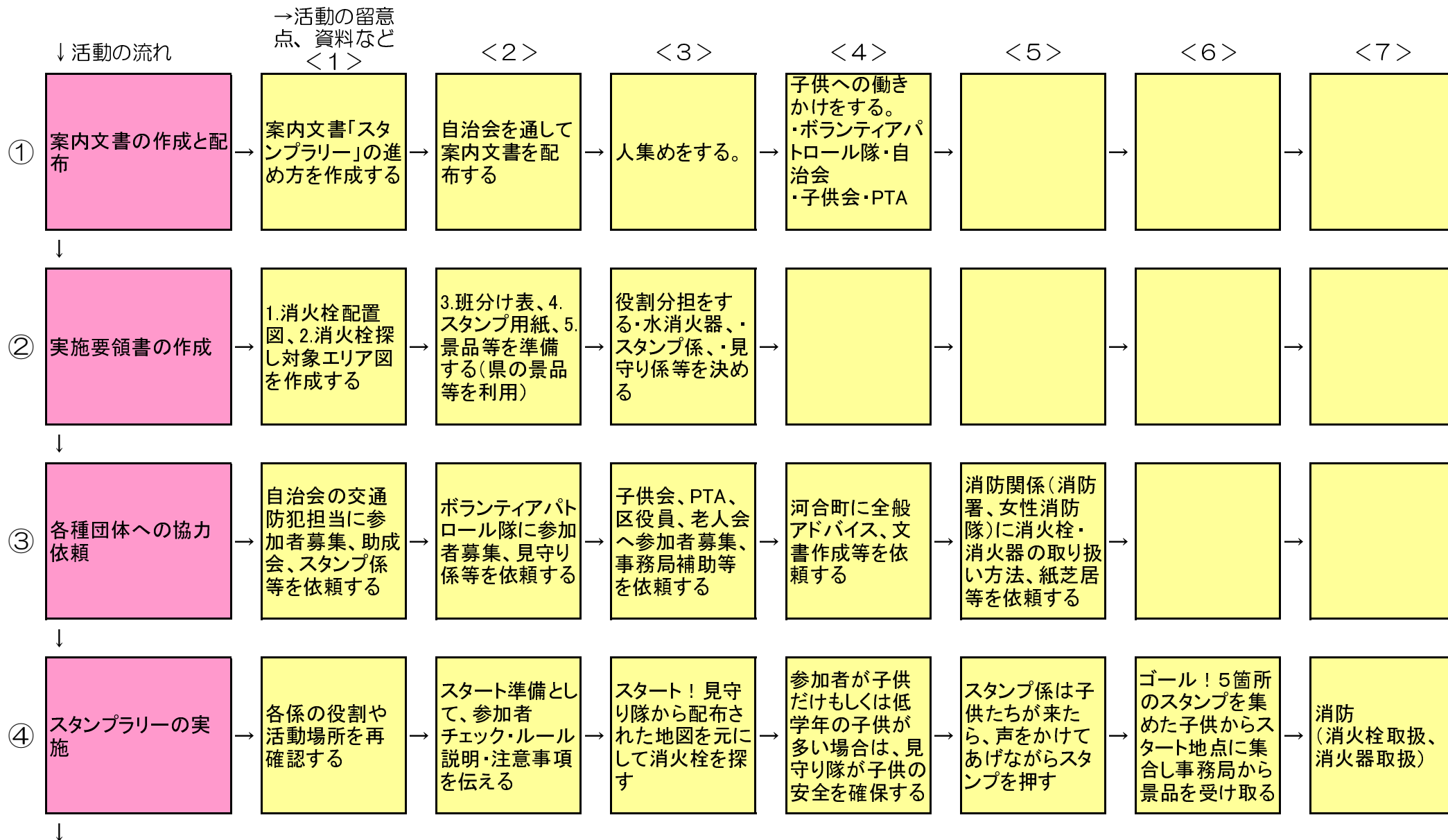
⑨ 必要なマンパワー  
(実施者、役割、人数)

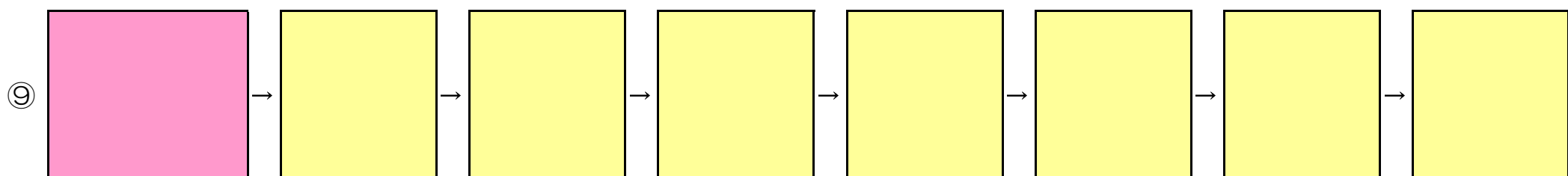
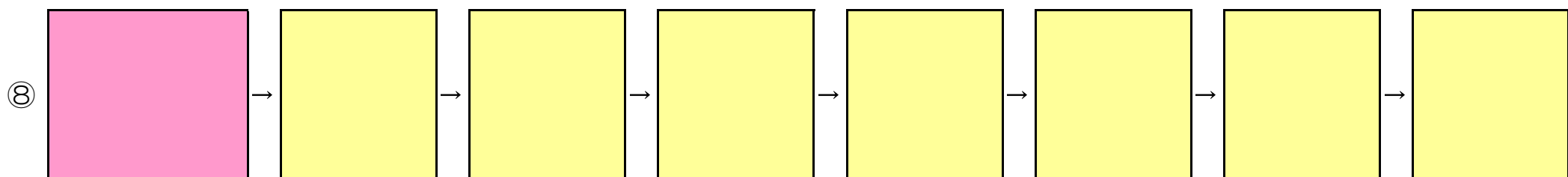
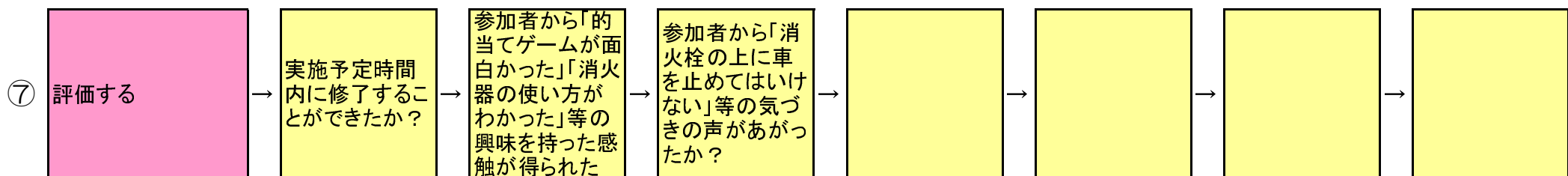
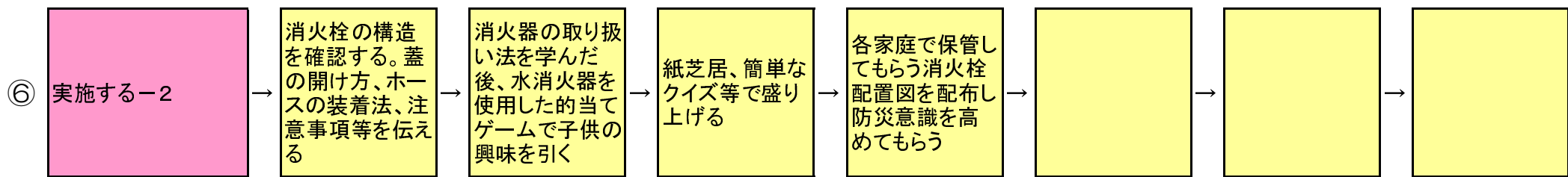
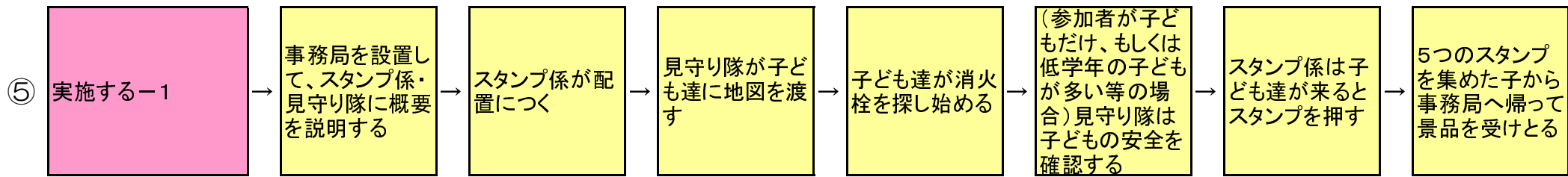
対象者30人程度、実施者(事務局3人、スタンプ係15人(スタンプ箇所数とリンク)、見守り係3～5人、水消火器担当3～5人)

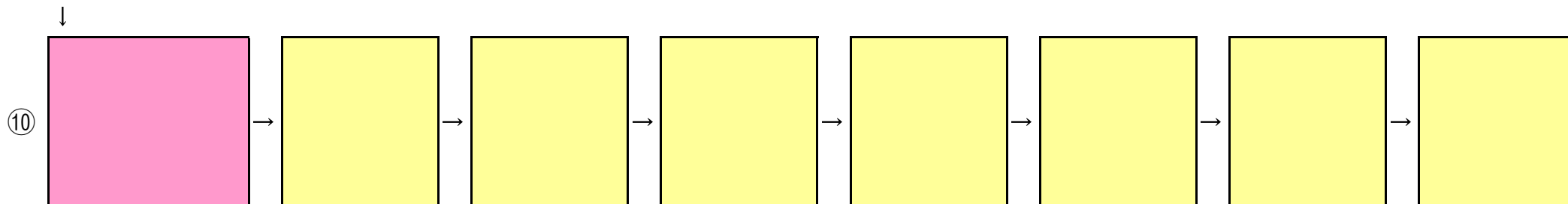
⑩ 必要経費  
(所要額、財源)

文書・地図作製費、スタンプ代、景品代等(高塚台2丁目自治会より助成)

## ■活動の流れ







## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

簡単なテスト・クイズを実施し評価する

### ②その他の評価

消火栓の位置、役割、使い方が理解できる。参加者から興味を持てたという感想が得られたか？ 気づきの声があがったか？

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

「防災といわない防災」を考える、子ども達をひきつけるメニューを考える（低・中・高学年別）

### ②参考資料等

NPO法人プラス・アーツさんのホームページを参考にして実施しました

※ 活動指導案作成のための準備物：①写真（活動の代表的な写真、流れがわかる写真等）、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

消火栓を探して親子でウロウロ。



ホースはこんな風に格納されてます。



消火栓の蓋をあけると・・・。



水消火器で的に当てるんだ！



女性消防隊(ボランティア)の紙芝居。



防災に関するクイズ。わかる人は手を上げて～。



# 活動指導案

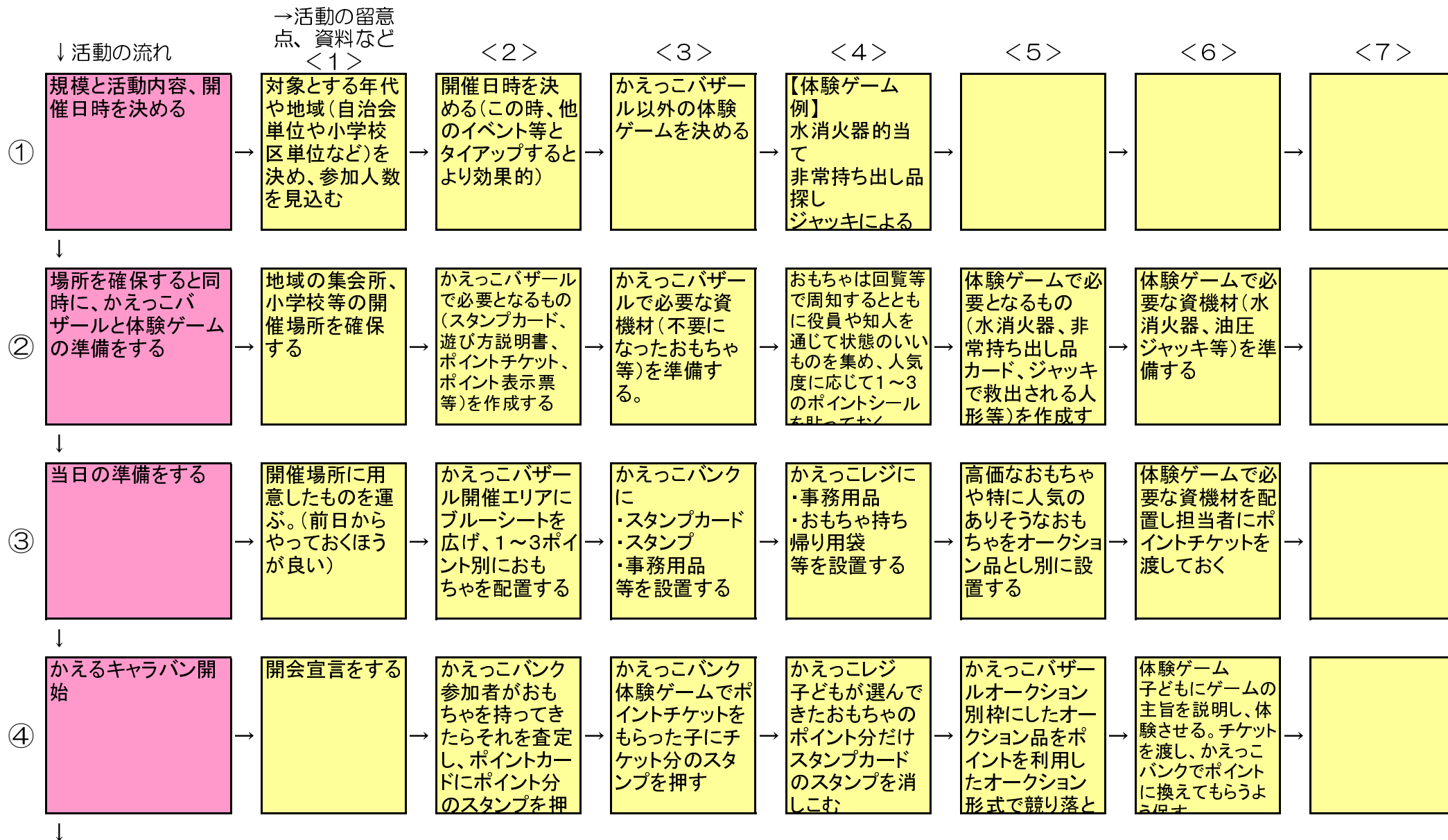
実践団体名 高塚台2丁目自治会

## ■基礎データ

2009-26

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| ① タイトル                    | かわいっこ かえるきゃらばん！ の展開   |
| ② 活動の概要                   | 「防災と言わない防災」の活動実践。<br>かえっこバザールというおもちゃの交換イベントをメイン(起爆剤)として、各種防災体験をゲーム化して誰でも楽しく参加できる防災を目指す。                           |
| ③ 目標・ねらい                  | 防災意識が希薄な年齢層や地域の防災訓練に参加しない(しにくい)世代をターゲットに、無理なく防災意識を浸透させ、将来的な地域のリーダーとなりうる人材を育てるとともに、子どもの頃から防災に親しむことによる「防災の日常化」を狙う。  |
| ④ 活動で上げることが<br>できる力・能力    | 例えば水消火器を的当てゲームにして子どもが繰り返し遊ぶことで消火器の扱いが非常に長けてくる。それらを体験した子どもだけでなく、関わった親や大人が協力し合うことによる地域の絆が強化され地域力のUPIにもなる。           |
| ⑤ 対象者(受ける側)               | 全ての住民。  |
| ⑥ 活動・作業形態                 | フリーマーケットやバザールをイメージすると良い。  |
| ⑦ 準備するもの<br>(道具、材料等)      | かえるのスタンプ(発案であるかえっこ事務局が世界共通の遊び通貨として採用しているスタンプで、日本全国のみならず世界中で通用することからこれを使用している)一本1800円。スタンプカード、家庭で子どもがいなくなったおもちゃなど。 |
| ⑧ 所要時間                    | 半日～一日。  |
| ⑨ 必要なマンパワー<br>(実施者、役割、人数) | かえるきゃらばん！ として行う場合、最低8人(かえっこバザールに4～5人・各体験ゲームひとつにつき2～3人)  |
| ⑩ 必要経費<br>(所要額、財源)        | 0～5000円くらい(河合町ではかえるスタンプを町が貸し出している)<br>体験によって必要なものが異なってくるが、概ねほとんど経費は必要ない。  |

## ■活動の流れ



⑤

かえるキャラバンの  
評価

まず子どもたち  
の声を聞く

体験ゲームの  
利用者数を把握する

耐震診断、耐震  
改修の申し込み  
増につながった  
か確認する

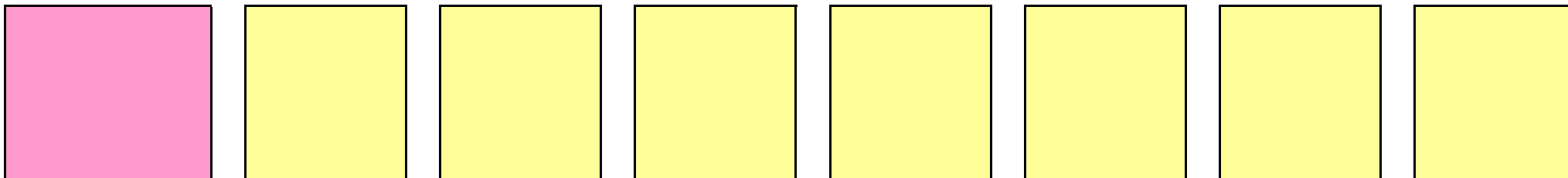
⑥

⑦

⑧

⑨

⑩



## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

子どもが楽しんで「今度いつあるの?!」「またして!」「また来たい!」などの声があがれば◎ 体験ゲーム者数

### ②その他の評価

大人だけではなく子どもも一緒に楽しむ → 子ども主体のイベントとなっていけば言うことなしと思います。耐震診断や耐震改修の申し込みが増加すればよい

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

無理をしない。楽しくやる。やりたいときにやる。やりたい子どもを集める。  
がんばりすぎると後々しんどくなって続けていくのが困難になるので、できる範囲でできることをやりましょう。みんなが楽しめればそれだけ効果はあったと考えて、次につなげる。また、このイベントは防災だけではなく、教育・環境・福祉・・・と、様々なテーマで行うことができます。子どもたちは「かえっこ」が大好きです。おもちゃの新旧・壊れてるなんて気にしません。何10回も消火器にやってくる子もめんどくさくさらず、楽しませてあげることが継続する上で重要だと思います。

### ②参考資料等

かえっこ事務局(かえっこバザール)HP: <http://kaekko.exblog.jp/i0/>  
NPOプラスアーツ(かえるきやらばん本家)HP: <http://www.plus-arts.net/>

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

水消火器で火をやっつけろ！



木材に挟まれたかえるくんをジャッキで救出



かえっこバザール。どのおもちゃにしよう・・・。



非常持ち出し品には何がある？



余った紙や新聞で非常用食器づくり。



締めはかえっこオークション。誰が競り落とすかな？

